

都市再生整備計画 事後評価シート  
石巻市中心市街地活性化地区


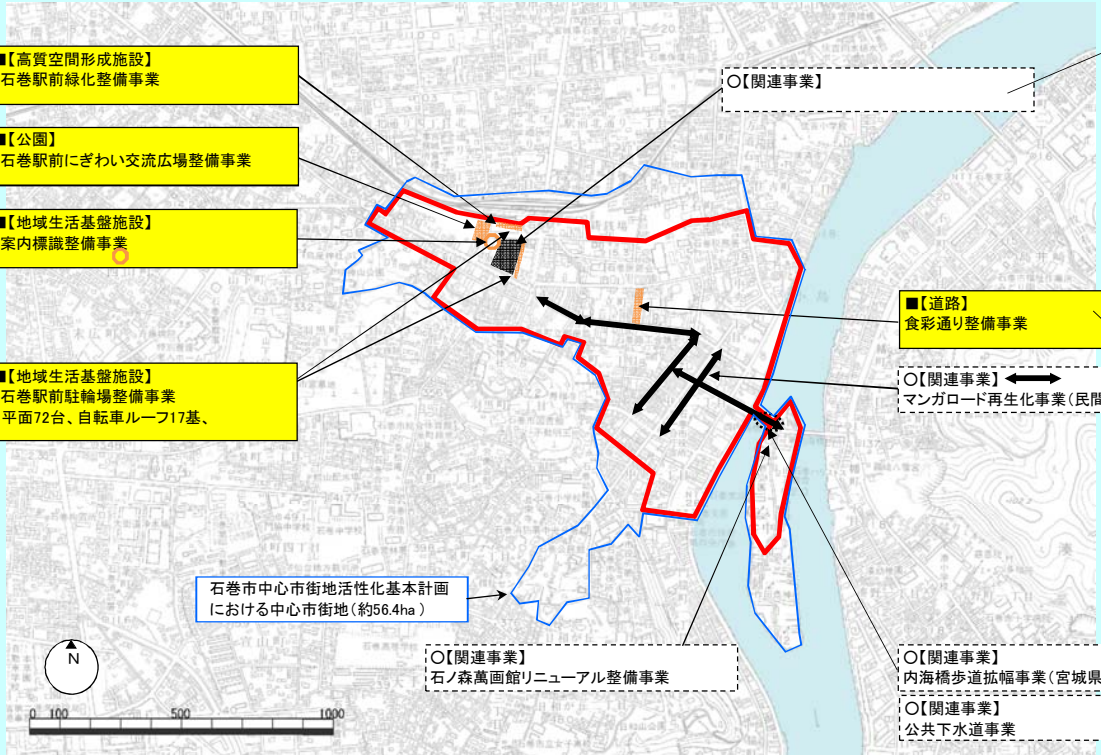

平成24年3月

宮城県石巻市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	石巻市	地区名	石巻市中心市街地活性化地区			面積	46.8ha				
交付期間	平成22年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	35.2	国費率	0.449				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		【道路】(仮称)食彩通り、【公園】石巻駅前にぎわい交流広場、【地域生活基盤施設】石巻駅前駐輪場、案内標識、【高質空間形成施設】石巻駅前緑化整備事業										
	提案事業		なし										
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業		なし			なし					
提案事業		【道路】①市道穀町6号線、【公園】②まちなか広場、③住吉公園、【高質空間形成施設】④マンガモニュメント整備事業		①駅周辺の全体的な整備構想の中で再検討する必要があるため ②～④東日本大震災の影響により、復興計画の中で再検討する必要があるため			①目標1及び指標1に関連するが、指標及び目標値は据え置く。 ②目標3及び指標3に関連するが、指標及び目標値は据え置く。 ③④目標2及び指標2に関連するが、指標及び目標値は据え置く。						
提案事業		【地域創造支援事業】①除却(社会福祉協議会ビル)、【事業活用調査】②事業効果分析調査(歩行者・自転車通行量調査)、【まちづくり活動推進事業】③利活用ワークショップ(まちなか広場)、④イベント開催社会実験(まちなか広場)		①～④東日本大震災の影響により、復興計画の中で再検討する必要があるため			①③④目標3及び指標3に関連するが、指標及び目標値は据え置く。 ②影響なし。						
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		事業の削除に伴い、目標及び指標に関連するが、指標及び目標値は据え置く。						
変更		平成22年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	指標1	中心市街地へ出かける頻度で「ほとんど行かない」と回答した割合	%	42.6	H21	30.0	H22		-	-	あり なし	東日本大震災の影響により、従前値と同様の住民アンケートを実施することが困難。	-
	指標2	歩行者・自転車通行量	人/2日	18,129	H20	17,000	H22		-	-	あり なし	東日本大震災の影響により、従前値と同様の計測が困難。	-
指標3	空き店舗率	%	14.7	H20	12.0	H22		-	-	あり なし	東日本大震災の影響により、従前値と同様の計測が困難。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	その他の数値指標1	イベント開催数	回/3ヶ月	14	H21		17					新庁舎移転、石巻駅前にぎわい交流広場のリニューアル等、駅周辺での集中整備により、石巻駅周辺の利便性・快適性等が向上した。この結果、東日本大震災の炊き出し等のイベント開催数が増加し、復興の場としても活用された。	-
	その他の数値指標2	楽しみながら回遊できる道路空間の割合	%	33.2	H21		34.0					回遊拠点となる石巻駅前にぎわい交流広場のリニューアルやマンガロード再整備、(仮称)食彩通りの舗装整備等、楽しみながら回遊できる空間が広がった。マンガロードのモニュメントは観光スポットともなり、震災後も癒しの場となっている。	-
その他の数値指標3	駐車場利用台数	台/3ヶ月	27,007	H21		51,416					新庁舎移転、石巻駅前にぎわい交流広場のリニューアル、案内標識による誘導等により、石巻駅周辺の集客力が高まり、石巻駅前駐車場の利用者数の増加に繋がった。震災後の混乱下においても、駅周辺へのアクセスは容易であった。	-	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>石巻駅前という利便性の高い場所に市庁舎移転が行われ、近接地に駐車場機能を有することもあり、市庁舎へのアクセス性が向上した。</li> <li>このため、東日本大震災時の交通がマヒした状態においても、市民が利用しやすく、また、復興活動の拠点としての機能を発揮することができた。</li> <li>さらに、市庁舎利用者への石巻にぎわい交流広場でのイベント周知などが容易となり、イベント参加者数の増加をもたらした。</li> <li>・(仮称)食彩通りをインターロッキング舗装としたことで、通りが明るく、きれいになり、歩行者や店主からの評判もよい。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況					今後の対応方針等					
	モニタリング		交付期間中の計画管理(東日本大震災の影響により、事業期間を大幅に短縮したため、実施できなかった)					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス		(仮称)食彩通りの舗装デザイン構成に関する協議					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	持続的なまちづくり体制の構築		なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

## 様式2-2 地区の概要

石巻市中心市街地活性化地区(宮城県石巻市) 都市再生整備計画事業の成果概要					
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 都市機能の再配置とストックの活用による中心市街地へのにぎわいの再生を目指す。 ①石巻駅周辺を市民や来訪者が安全快適に利用ができ、集い憩いの空間としての魅力を高める。 ②市民や観光客が「萬画」の魅力を楽しみながら回遊し休息のできるまちなかを形成する。 ③公共空間を活用し商業者の積極的な取り組みを促し集客力の向上による商業活力の再興を図る。	中心市街地へ出かける頻度で「ほとんど行かない」と回答した割合	単位: % 42.6 H21	30.0 H22	-	H23
	歩行者・自転車通行量	単位: 人/2日 18,129 H20	17,000 H22	-	H23
	空き店舗率	単位: % 14.7 H20	12.0 H22	-	H23
	イベント開催数	単位: 回/3ヶ月 14 H21	-	17	H23
	楽しみながら回遊できる道路空間の割合	単位: % 33.2 H21	-	34.0	H23
	駐車場利用台数	単位: 台/3ヶ月 27,007 H21	-	51,416	H23
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>【石巻駅前にぎわい交流広場】</p>  <p>H23.11.13 イベントの様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>石巻市中心市街地活性化基本計画 における中心市街地(約56.4ha)</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【駅前に移転した新庁舎】(関連事業)</p>  <p>【インターロッキング舗装された(仮称)食彩通り】</p>  </div> </div>					
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎や石巻駅前にぎわい交流広場などが集約して配置され、石巻駅周辺における快適性・利便性が向上した。しかし、東日本大震災の影響により、道路の破損等、安全性が低下した箇所が見られる。</li> <li>・マンガロードの再整備や(仮称)食彩通りの舗装整備などにより、楽しみながら回遊できる空間が広がった。しかし、東日本大震災の影響により、公園や広場といった休息場所や回遊ポイントとなるマンガモニュメントの設置等の事業推進が困難となり、街全体としての魅力向上には至らなかった。</li> <li>・石巻駅前にて、新庁舎や石巻駅前にぎわい交流広場などが集約して配置されるとともに、新たに駐輪場なども整備され、駅前の集客力は向上した。しかし、東日本大震災の影響により、商店街等が被災し、商業機能が低下した。</li> </ul>				
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻駅前にて、新庁舎や石巻駅前にぎわい交流広場の適正管理に努めるとともに、活力向上の場としての有効活用を推進する。</li> <li>・石巻駅前に整備された施設や整備された回遊空間、拠点などの有効活用に配慮し、また、商工会議所や商店主などとも協力しながら、復興まちづくり計画を進める。</li> </ul>				